利　用　報　告　書

課　題　名 （英文名）	企業行動の国際比較分析
	International Comparative Analysis on the Behavior of Corporations －　An Empirical Study － －
利用者名	道　明　義　弘（社会学部　教授）

1．研究目的・内容

日本および米国、カナダ、世界各国の企業についての財務データベースを利用し、企業行動を分析し、行動比較を試みる。

2．研究方法・計算方法

日本政策投資銀行「企業財務データバンク」、S&P's COMPUSTAT、S&P's GLOBAL Vantageなどの企業財務データベースをパソコンによって処理し、SPSS、TSP等の統計処理ソフトを用いて計算処理を行うことによって、企業行動の解明を試みる。

3．研究成果

日本企業とアメリカ、カナダ企業、ヨーロッパ諸国の企業について、その行動の差異を解明する手がかりとなる下記のような成果を得た。

4．発表・出版実績または予定

「アジア・オセアニア・中南米・アフリカ１３カ国（オーストラリア・香港・インドネシア・インド・マレーシア・ニュージーランド・シンガポール・タイ・台湾・バミューダ・ブラジル・メキシコ・南アフリカ）製造業における自己資本経常利益率決定メカニズムの解明」
道明義弘・伊藤研一・井澤裕司
『立命館経済学』、第５０巻第２号、2001年6月

「アジア・オセアニア・中南米・アフリカ１３カ国（オーストラリア・香港・インドネシア・インド・マレーシア・ニュージーランド・シンガポール・タイ・台湾・バミューダ・ブラジル・メキシコ・南アフリカ）非製造業における自己資本経常利益率決定メカニズムの解明」
道明義弘・伊藤研一・井澤裕司
『立命館経済学』、第５０巻第３号、2001年8月

「企業財務データベースによる教育方法の革新－前史－」
道明義弘・伊藤研一
『奈良大学情報処理センター年報』、第12号、2001年10月

「経営学教育のニュー・フロンティアー企業財務データベースとその利用を巡って－」
道明義弘・伊藤研一
『奈良大学紀要』、第30号、2002年3月

『ＯＥＭ化のメカニズム：企業規模と市場、組織』
道明義弘・伊藤研一・井澤裕司
ファイナンス研究センター　リサーチペーパーシリーズ（立命館大学）第01-006号、2001年12月

「産業（業種）別ＯＥＭ化のメカニズム：パネルデータによる先決性の検定」
道明義弘・伊藤研一・井澤裕司
『立命館経済学』、第５０巻第６号、2002年2月